



## アンテナ高く！ 関心向けて！ 関わり続ける！

京都府ではここ3年、小・中学校における不登校児童生徒の増加傾向がみられます。センターの来所・巡回相談においても不登校に関する相談は全体の過半数を超えています。早い時期から周囲の大人が気づき、適切に関わる必要があります。

アンテナ高く！

### 「あれ？なんだか違うな…」

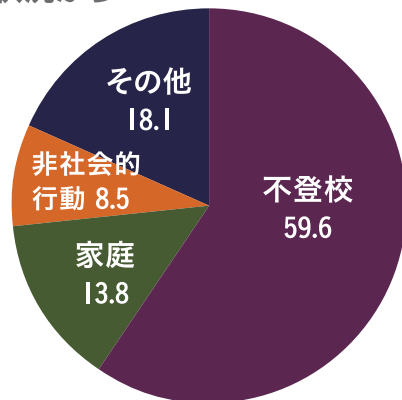
まずはちょっとした変化に「気付く」ことです。それはその子の日常の姿を知っているからこそ気付くことができるものです。授業中だけでなく登校時、廊下での立ち話、休み時間の様子など、何気ない日常からキャッチした小さな気づきを大切に扱って、見えてくるものがあるはずです。

関心向けて！

### 「ねえ、どうしたの？」

次に「関わる」ことが求められます。「おはよう」とさりげない声かけや、「最近どうしたの？」とこちらの心配が伝わるような言葉かけから始めてもよいでしょう。そしてさらに適切な関わりを見出すためには、子どもや保護者の話を丁寧に聴くなど、その子への理解を深める必要があります。

▶来所・巡回教育相談(4月～9月)の状況から



主訴別受理件数の割合(%)

関わり続ける！

### 「いつもそばで見ているよ」

子どもが自分のことをまず一番に理解してほしいと思っているのは、担任の先生です。「先生は自分のことをわかってくれる」ということが、子どもと保護者にとっての安心感・信頼感につながります。関わり続けることはとてもエネルギーが要ることですが、その先生方の「こころのエネルギー」が子どもにとって次のステップへの力となります。

◎子どもを理解できる。チームでの対応ができる。当センター教育相談関係の研修講座を受講して、さらに力を付けてみませんか。

平成28年度も教育相談の講座では、3領域に基づく講座(①事例の見立て ②心のしくみ ③相談技法)を開催予定です。また、北部開催の講座を増やす予定です。先生方のニーズに合わせて御活用ください。

参考

研修履歴一覧表

平成27年3月31日現在

研修番号	研修名	研修期間	研修内容	研修回数	研修結果
1234567	〇〇公立小学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234568	〇〇公立中学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234569	〇〇公立小学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234570	〇〇公立中学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234571	〇〇公立小学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234572	〇〇公立中学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234573	〇〇公立小学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234574	〇〇公立中学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234575	〇〇公立小学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234576	〇〇公立中学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234577	〇〇公立小学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234578	〇〇公立中学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234579	〇〇公立小学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1
1234580	〇〇公立中学校 児童 支援	2015年4月～2015年9月	不登校児童生徒の支援	1	1

### ◎研修講座の受講状況を確認することができます。

平成21年度からの研修履歴を、受講管理システムを利用して各学校からWebブラウザで閲覧することが可能となっています。

ぜひ御自身の研修履歴一覧表を確認していただき、各分野を偏りなく受講しているか、専門性を伸ばすべく受講しているか等の指標としてください。

※研修履歴一覧表の閲覧方法は、各学校に配付のマニュアルで確認することができます。

# 学級全員の学力を伸ばそう！

## ユニバーサルデザイン授業

連載  
第4回

掲示物を工夫したり、教室を整理整頓したりすることで、誰にとっても学習しやすい教室環境を作ることができます。連載第4回は、子どもたちが学習に集中しやすい教室づくりのポイントについて、「学習への集中」「学級ルール」の2つの視点で紹介します。

### 学習しやすい教室環境をつくらう！

#### 学習への集中

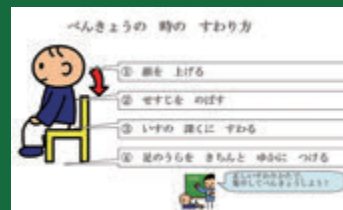


すっきりした教室の風景

■発達障害のある子どもたちは、対象物に適切に注意を向けたり、注目し続けたりすることが難しい。  
→環境を整理すると子どもたちの集中を助ける。

- 黒板に集中できるように、教室の前面や側面は必要最小限の掲示にする。
- 棚の中が見えて気が散らないように布などで隠す。
- 物の位置を決めて整理整頓をする。等

#### 学級ルールの理解



椅子の座り方を示した掲示

■発達障害のある子どもたちは、「暗黙の了解」の理解が難しい。  
→視覚化すると、ルールが分かりやすい

- 片付ける位置にラベルを貼ったり、片付けた状態の写真を掲示したりする。
- 授業を受ける際の姿勢・態度等を掲示物等で視覚的に示す。
- 学級のルールを、イラストや文字で表現し掲示する。等

◎「ユニバーサルデザイン授業」(詳細版)には、実際に各校で行われている教室環境の工夫が掲載されています。是非 ITEC からダウンロードして御確認ください。

## タブレット端末

### を活用した研修講座 その2

### 「使ってみたい」から「できる」へ

タブレット端末の活用を主なねらいとして実施した「授業でのICT活用講座II」は、定員を大幅に上回る90名の受講がありました。その中で、総合教育センターのiPadをグループ協議に活用した様子を紹介します。



KJ法を使ったグループ協議で、紙の付箋に記入した意見の分類作業にiPad無料アプリ「Post-it® Plus」を使用しました。

正方形の付箋を画像として取り込み、アプリ内で自由に動かし、整理・分類をすることができます。

(感想)

協議もプレゼンもタブレットを用いて行い、活用法やアプリなど、協議内容と合わせてとても参考になった。

#### メリット

- データ保管・複製が容易
- 別端末(グループ)のデータを統合可能
- 無線機能を利用した提示・共有が容易
- データを出力し加工可能